

児童・生徒指導だより

2024年9月13日発行

児童生徒指導・通学支援部

保護者のみなさま、こんにちは。日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。2学期もスタートして、学校に子どもたちの元気な姿が戻ってきて、教職員一同嬉しく思っております。われわれ教職員は、これからも子どもたちにとって学校が「安全で安心な場所」となるように、訓練や研修を行い、もしもの場合に備える体制づくりに努めてまいりましたのでその様子をご覧ください。

◇災害時児童生徒引渡し訓練◇

本校では、大規模地震等が発生した場合に保護者様に子どもたちのお迎えをお願いしております。2018年の大阪北部地震が発生した時に、子どもたちのお迎えを保護者様にご協力いただいたこともあります。

今年の1月には能登半島地震が発生し、今後は南海トラフ地震も発生することが懸念され、災害が発生した場合の子どもたちの引渡しのニーズが高まっています。

そこで、教職員同士で保護者役と担任役に分かれて子どもたちの引渡しを想定した訓練を実施しました。訓練を経て、災害等の発生時に保護者様に安全かつスムーズに子どもたちを引渡しできるような行動力やイメージを身につけました。



◆不審者対応訓練◆

本年度は、守口警察生活安全課の防犯係にご協力をいただき、不審者対応訓練を実施しました。

【授業中に不審者が学校に押しかけきて危害を加えている】という想定のもとで

実施しました。訓練では子どもたちの安全を守るために、教室の入り口にバリケードとして机を設置したり、対応係は実際にさすまたを携行して不審者役の警察職員に立ち向かったりしました。その様子を撮影し、体育館で視聴しました。警察の方からは、本校の教職員同士の連携良さを評価していただきながら、さらに良くするための改善点やアドバイスもいただきました。

最後に、さすまたの効果的な使い方も教えていただき、子どもたちの安全を守るための不審者対応について学びを深めることができました。



このQRコードは、「守口支援学校」のホームページを開くURLを示しています。

